

「FIT 友の会」森林インストラクター資格取得支援講座

「安全及び教育」

2020年7月5日(日) 曇り一時雨 長池公園

八王子市の長池公園で、会員6名運営スタッフ2名で『森林インストラクター資格取得支援講座』4日目「安全及び教育」を、感染防止策をとって実施しました。

午前中は、山の安全、救命手当・応急手当、森林と人間と自然保護、森の民俗学、人を引き付ける話法、企画の立て方について、その内容の解説と過去の出題問題を使った演習を行い、重要な用語を解説しました。それぞれの項目ごとに過去問を使った演習を行い、300字記述問題、穴埋め問題、選択問題、自由記述問題に回答する練習をしました。「安全及び教育」科目の全体イメージの把握と4種類の出題形式の問題に回答する感覚を実感しました。



実習：三角巾で足首の固定

午後は「救命手当・応急手当を体験する」というテーマで携行救急セットの使用法や三角巾の結び方を体験した後、長池公園の雑木林で「自然観察会における危険を探す」をテーマにして実習を行いました。

携行救急セットの小さな救急ポーチには、包帯、消毒ガーゼ、アルコール消毒綿、三角巾、はさみ、レジ袋、消毒パッド、薄手ゴム手袋、ポイズンリムーバ、救急絆創膏、ガムテープ、痙攣防止薬、裁縫セットがコンパクトにパッケージされており、一つひとつ使用方法についての解説がありました。

登山中に靴の底が剥がれたときの応急処置としてガムテープでの補修、ポイズンリムーバ、痙攣防止スプレイの使い方、細孔キャップを付けたペットボトルでのキズの洗浄法を学びました。

三角巾の実習では、八折り、圧迫包帯、固定包帯、腕吊りなどを体験しました。

幸い雨が止んだため、二人一組になり野外で「自然観察会における危険なものを探す」というテーマのもと植物、動物、地形・気候、その他の4項目にあてはまるものを探しました。

植物ではススキの葉（皮膚が切れる）、ハリギリ・クマイチゴ・タラ・アザミ・サンショウ（トゲ）、キノコ（毒）を発見しましたが、公園管理の方が伐採してしまったせいか、残念ながら(?) ツタウルシは見つかりませんでした。動物ではアシナガバチがいました。地形・気候では別れ道（迷子）、濡れた赤土（滑る）、水路、木の根、路面の濡れた側溝のフタ、丸太階段などが危険だということを屋内に戻り全員で確認しました。

全体的に充実した実習ができたため、「安全及び教育」の具体的な理解が進んだことと思います。昼頃までかなり降っていた雨も止み、気持ちよく皆で帰ることができました。

参加者：氏家さん、栗崎さん、関口さん、高田さん、三井さん、山本さん

講師：榎田 幹夫〔事務局代行〕

スタッフ：古谷〔写真・報告〕

(報告：FIT友の会運営スタッフ 古谷一祐)





講義：間隔を空けて窓を開けて実施



演習：山の安全「森林限界」とは



実習：「携行救急セットを使う」



実習：二人一組で靴底剥がれの応急修理



実習：三角巾で膝の圧迫包帯



実習：三角巾で腕吊り



実習：「自然観察会での危険な物を探す」



実習：ツタか？ツタウルシか？